

第 8 回 予算決算委員会

令和 5 年 9 月 11 日 (月) 5 階 議場	開 会 8 時 5 2 分 閉 会 9 時 5 9 分
-------------------------------	--------------------------------

午前 8 時 52 分 開会

○委員長（奥村一仁君）

皆さん、おはようございます。

時間より少しだけ早いですけど、始めさせていただきます。

朝晩、大分涼しくなってきました、秋っぽくなってきました。秋と言えばスポーツの季節ということで、先ほど皆さんおっしゃってました、神谷そらさんがメジャー大会優勝ということで、大変おめでたいことだと思います。

これも昨日、U-18のサッカー日本代表が世界一になったとか、ラグビーワールドカップもそうだったみたいです。

親善試合ですが、日本がサッカーのドイツに勝ったということで、あと少し前にはバスケのワールドカップでも日本が3勝したということで、皆さん、非常に結果を出されています。やっぱりそれぞれ日々、努力を積み重ねて、本番でやるべきことをやった結果が良い結果に表れたと思います。

我々、議員も日々、市民の皆さんのために努力して、勝ち負けとか、すぐに結果の出るような仕事ではありませんが、日々努力を積み重ねてやるべきことをやっていきたいと思いました。

本日と明日、明後日、その後、予備日とありますが、皆さんよろしく願いいたします。

上着の着脱は自由としますので、よろしく願いいたします。

それでは、これより令和5年第8回予算決算委員会を開会いたします。

○委員長（奥村一仁君）

それでは、皆さん、タブレットに金曜日に配付しました資料をご覧いただければと思います。

ちょっと一つだけ訂正をさせていただきますが、全体の評価が載っている1ページ目のところ、シャープになっている部分です。下水道事業のところの樋田委員と成瀬委員が100点ということで、そこだけ後ほど、修正いたします。

それでは、①移住定住情報発信事業から順番に言っていただきたいと思います。

事業評価（案）の、このようにまとめました。

評価結果ですね。特に上の点数は皆さんの平均ですので、修正ある方は修正したものを載せています。

皆さんに見ていただきたいのは、この評価結果の文章のところなんです。なるべく点数の上下があっても、上下の方から抜粋して文章をまとめてありますが、もしこういったことを記載してほしいと

か、そういう意見がありましたらいただきたいと思いますので、ご意見がある方は挙手でお願いします。

16番 柴田増三君。

○16番（柴田増三君）

これ作ったほうの立場というか、委員長がやったほうですけど、皆さんからいろんな意見が出ました。出て、集約的に今、委員長が言ったように、下の、評価の悪かった意見も、良かった意見も集約した形のようなもの、同じようなものは同じような形で書かせていただいたという、この評価に書いてありますので、やっぱり細かく自分が言ったことが載ってないでどうのこうのという問題でなくて、同じような人は同じような意見でまとめましたよということなので、ご理解いただきたいなと思います。

○委員長（奥村一仁君）

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

非常に見やすい表で取りまとめていただきまして、ありがとうございます。

必要性とか実施主体のところの総合評価シートのすぐ下ですか、のところなんですけども、こういう場合、低いほうを右に持ってくるのが見やすいのか、僕は左のほうのイメージが強かったので、妥当性が低いほうを左とかにしたほうが、表としては見やすいのかなと思いましたので、意見としてちょっと言わせていただきます。

○委員長（奥村一仁君）

ありがとうございます。例えば、市民アンケートとかでいうと、このように高いほうが左にあるまとめ方ですので、大体こういうまとめ方にいきたい。

○8番（樋田翔太君）

はい、分かりました。

○14番（熊谷隆男君）

まあ、いいんじゃないの。

○委員長（奥村一仁君）

よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○委員長（奥村一仁君）

では、次の事業に続いていきます。②夢づくり市民活動補助事業についてです。

こちら、文章を読んでいただいて、ご意見ある方は挙手をお願いします。

ご意見、いかがでしょうか。

○委員長（奥村一仁君）

1番 福永泰子君。

○1番（福永泰子君）

この効率性、成果のところの一番最後なんですけど、「伴奏型支援の検討」の「伴奏」って走るほうやと思っただけ。

○委員長（奥村一仁君）

「伴走」に修正します。ほかにはないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ほかにはないので、次の議題に行きたいと思います。

○委員長（奥村一仁君）

③預かり保育等給付事業についてです。

ご意見ある方、よろしくお願ひいたします。

特に目標指標がゼロ点の方が何人かいらっしゃいましたけど、報告書をこのようにちょっとまとめさせていただきましたが、何かご意見があればいただきたいと思います。

5番 柴田幸一郎君。

○5番（柴田幸一郎君）

今までは一番上のところが、必要性や実施主体というふうになってましたが、表の。今回、これ、評価結果になつとる。

これ、書き間違いやね。

○委員長（奥村一仁君）

すみません。間違いです。

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

表の、総合評価Cの上のところの実施主体のところの角が取れちゃってます。

○委員長（奥村一仁君）

ありがとうございます。

13番 榛葉利広君。

○13番（榛葉利広君）

私も目標のところゼロ点でしたので、ここに書いてあるように、非課税世帯や保育の必要性などが条件で、その人のために給付を行うものなので、どうしても数の設定ができないっていう、説明は分からないではないんですが、これ今頃言ってもあれかもしれんけど、国の事業ということで、ちょっと評価がしにくいという面は確かにあるので、だんだんやっぱり事業評価も、事業そのものが、今までやり尽くしとるとするか、やってきとるので、減ってきとるとかということかもしれんけど、そこら辺ちょっと考える必要があるのかな。

あるいは、目標、何ならできんことないような気もするんですけど、ちょっとそこら辺がもやもやしとる。そこだけ。別にこれが悪いというわけじゃないんですけど。

○委員長（奥村一仁君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

俺も目標指標というのは、はまる事業とはまらない事業、示せる事業と示せん事業はあるものやと。一括それやって、何も変えなきゃ、ゼロ点つけるしかないことになってしまうというのは、これでもって評価のところも、目標指標を大きく取り上げるけども、指標の示し方をどう取るのか、指標の成果をとということなら、成果のほうになっちゃうし、その辺のところ曖昧なというか、これ全てに統一することではないなど。

これ今後のことになるわけやけども、その辺のところは、持っていかれるときに説明してもらえるとありがたいなということを思います。

○委員長（奥村一仁君）

ありがとうございます。まず、榛葉委員のご意見についてですが、確かにこれ、国の事業ということで、なかなか評価しづらいものをピックアップしてしまったという経緯がありますので、これはちょっとまた来年度の引き継ぎで、選定のことについて、今年、反省点を記載したいと思います。

熊谷委員がおっしゃったようなことも、正副委員長と事務局と相談しまして、目標指標という指標は果たして、評価として適切かという意見も出ましたので、これもちょっとまた次回以降の引き継ぎのところで、配点も含めてですけど、ちょっと検討課題として挙げたいと思います。ありがとうございます。

○16番（柴田増三君）

委員長と榛葉委員と熊谷委員と、いろんな補足のよう形のいい意見が出ました。確かに榛葉委員が言われるように、これまでずっと、平成23年ぐらいからもうやってきたわけですけども、事業を選ぶのがだんだん難しくなってきたという部分も、いろんな検討する中であった。

そういった中で、この最後のまとめのところで、一度また検討を皆さんにさせていただく必要があるけど、今後、事業評価をどうしていくのかというの、大変課題になるのかなと思ってますので、事業評価の選び方、選ぶ事業についてもですけども、どこにまた評価するのかということと、点数が低いやつ、こんな事業やらんでもいいやないかというような意味にも取られがちですので、そういった部分をどう検討していくのかというのが課題かなということで、ちょっと事務局、また、委員長との相談の中で出てきました。

もっと掘り下げて、審査する件数を少なくして、もっと掘り下げた事業の中で検討していく必要があるんじゃないかというような意見も出ましたので、また最後の中で検討していただければと思います。

○委員長（奥村一仁君）

それでは、ほかはいかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

特にないようでしたら、次に進みたいと思います。

○委員長（奥村一仁君）

次に、④下水道事業会計（農業集落排水の統合）についてです。

ご意見ある方、挙手にてお願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは、ご意見なしで打ち切ります。

○委員長（奥村一仁君）

次に、⑤企業立地奨励事業についてです。

ご意見ある方、挙手をお願いします。

すみません、この効率性、成果のところの下から2行目、「行政指導の土地開発」とありますが、こちらは「主導」の間違いですので、主導に修正します。

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

企業立地、この評価について、私はいいと思うんですけども、私、市のやり方として、行政のやり方として、私の家の近くでも開発を進めたい、一応、調査して、計画を作ってまでやって、どれぐらいかかるまでということをやられました。

それもポシャになったんですけども、あと一つは、稲津のほうでもやられた、これもポシャになっちゃったということで、結局、最終的には、そういう計画を立ててもすぐ費用対効果ということを出す人がおるみたいね。それだけの費用をかけてどうなんだと言われちゃうと、じゃあやめとこうという話になってしまうので、その辺をもう少し行政のほうも考えて、一応、やると言った以上はそれなりの方向性を持ってやっていかないと、これいつまでたっても、企業を呼ぼうとしても土地がない、土地がないっていう話になっていってしまうというのが、私は原因だと思うんですよ。

だから、その辺をどういうふうこれから考えていくかということが、私どもも考えていかないと、行政のほうも考えていってもらわないといけないなと思っております。

あとは、圃場整備をやった後のところの田んぼ、非常に開発しやすいんで、企業立地の土地にしたいなという話が今、持ち上がっておるところがあるんですけども、これ自体は、実際に償還が終わって土地になるもんだから、そういう話はこれであって、それこそ土岐町なんかで今、圃場整備をやってるんだけど、そこへやろうとしてもやれない。そういうことが非常に絡んでくるんで、非常に開発が難しいということがあるんで、その辺も行政のほうも考えた形で取り組んでももらわないかんのかなと私自身は思いながら。

別にここに書かなんでもいいんだけど、下のほうにちょろちょろと書いてあるんでいいかなと思いますけど。

それと、皆さん、開発公社が瑞浪市にあるということを知ってみえると思うんだけど、開発公社

は何やっとなのという気がするんだけど、この開発公社自体はもっと動けばこういうこともやっていけるんじゃないのかなという気がするんだけど、お金の問題が絡んでくるので、どうしてもそういうところが出るとくるかもしれんけど、国の補助金とか県の補助金を使ってやるのもあると思うんで、そちらのほうへ取り組んでいく必要があるのかなと思うのが私の思いです。

○委員長（奥村一仁君）

はい、ありがとうございました。

行政側も立ち上げることを課題としていますので、今後、しっかり議会としてチェックしていきたいと思います。

ほかにどうでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ほかにないようですので、次に進みます。

○委員長（奥村一仁君）

⑥多面的機能支払交付金事業についてです。

ご意見のある方、挙手をお願いします。

5番 柴田幸一郎君。

○5番（柴田幸一郎君）

今回、ここを目標指標が赤色の妥当性が低いと25%と高いんですね。それが、目標指標のこの文章から見ると、この25%もあるよというふうな危機感的なものが受け取れにくいというふうに思っています。

黄色の68%が圧倒的なので、こういうような書き方かなとは思っておるんですが、まあ、しょうがないかなとも思うし、25%が高いと考えている私としては、ちょっとパンチが足りない言葉かなと思ってます。

○委員長（奥村一仁君）

ありがとうございます。こちらについても正副委員長と事務局で議論する中で、今、柴田幸一郎委員がおっしゃったようなことを考えました。これも基本的にはちょっと評価していただくのが難しかった事業かなと思ひまして、申請に対して交付するという事業ですので、あくまで申請がなければ交付はないということで、100%になるという、目標設定をされています。

先ほどの預かり保育の事業と一緒に、これも基本的には目標を設定するのが難しいということもありますので、先ほどの預かり保育と同じように、やむを得ないということで考えました。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ないようですので、次に進みます。

○委員長（奥村一仁君）

⑦小・中学校ICT支援員派遣事業です。

ご意見ある方、お願いします。

特にA評価からD評価まで、皆さんのいろいろ評価がありますので、それぞれご意見が織り込まれてるかということについてもチェックして、確認していただきたいと思います。お願いします。

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

このICT支援員というのは、子どものための支援員なのか、先生のための支援員なのか、ということがちょっと私は考えるに、最近は子どものほうが先に進んでいっちゃってるので、先生より強いんじゃないかという気がするんだけど、この辺を、どのように教育委員会は考えるのかなということが私、非常に心配したことなんだけど、この間、話をしたときには、他市から来た先生はついていけないんで、その人たちのためには必要だなんていう話があったんだけど、これちょっと筋違いという気がするんですよ。

やっぱり岐阜県の職員だったら、ICTを進めるといふんだったら、もう県は当然、先生たちもやれることになってなきゃおかしいと思うんですよ。だから、その辺も問題じゃないかなと私は思うんだけど、最終的にはこの支援員というのはすぐにいなくなっていくんじゃないかというふうに私自身は思ってるんだけど。

だから、いつまでやるんだということがやっぱり、これから問われると私は思いますので、その辺だけちょっと伝えておきたいです。

○委員長（奥村一仁君）

ありがとうございます。

今、ご意見いただいた効率性、成果のところの3行目の国の補助対象となる期間は継続が必要ということで、表現をしました。

執行部の説明のときに、国への交付申請がだんだん増えてきて、額は基本的には一定額しかないので、増えてるのに、自治体に交付される金額が減っていくという答弁があったと思いますけど、これで交付されるまでは続けて、これがなくなったときは、成瀬委員おっしゃったように、本当に必要かどうかしっかり議会としても見ていかなければいけないと思います。

ほかにいかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ほかに発言もないようですので、次に移ります。

○委員長（奥村一仁君）

次に、⑧混合焼却施設管理経費についてです。

ご意見ある方、挙手でよろしくお願いします。

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

今議会の酸素装置の故障ということがありましたけども、ちゃんとメンテナンスができておる状

況でも、ああいうことが起こり得るんだらうとは思いますが、突発的な予算が多過ぎる事業かなというふうに僕は思っているんで、そういう突発的な補正を組んでるのも含めて、維持管理費は適正かどうかということをちゃんと把握してもらいたいなということは最後に入れていただいてもいかなと思います。

やはり今後、昨年度の事業の評価としてはそれでいいと思うんですけども、突発的な修理も含めて、修繕費が増加してるというふうにあるんで、修繕費のトータルコストをちゃんと見てほしいというところが入ってるというと思います。

以上です。

○委員長（奥村一仁君）

その辺も含めてご意見としていただいております。

ほかにはないでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ありがとうございます。

それでは、ないようですので、次へ進みます。

○委員長（奥村一仁君）

次に、⑨普通河川緊急浚渫推進事業についてです。

ご意見ある方、お願いします。

ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

特にないですので、次に移ります。

○委員長（奥村一仁君）

最後に、⑩スクールバス運行管理経費について、これも評価が割れてますというか、B評価からE評価までありますので、読んでいただいて、ご意見いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

○委員長（奥村一仁君）

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

交通の成果というところと重複しますが、コミュニティバス、デマンドバス、公共交通、この事業としての評価は非常に難しいかなというふうに思いました。

公共交通を考える上で、スクールバスにこのまま投資をするのが必要かということを考えればいかなというふうに思いましたけども、陶の方では議長を含めて、公共交通の整備についてのことをやられるようですが、この事業単品で評価するのは少し難しいんですが、でも、本当に公共交通をこれから考えなきゃいけないですので、ちょっと事業評価もこの部分だけでできるか分かり

ませんが、全体で公共交通について考える機会が必要かなというふうに、この事業を通して思いました。

以上です。

○委員長（奥村一仁君）

評価調書の都市効果、評価調書のほうにも担当課が課題として、公共交通の全体を含めて検討していく必要があるというふうに言ってましたんで、それも含めて評価されてる方も委員の中にはいらっしゃると思いましたが、あえて記載してないので、それはそれでいいのかなとも思います。

それも今、樋田委員おっしゃったように、ちょっと評価が難しい事業であったというのは事実だと思います。

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

私は地域的なことを考えて、地域のことはいろいろ話が出ておるのは、瑞浪北中学校のことなんですけど、統合によって遠距離通学となった生徒の通学的手段として、スクールバスを使つとるといふことなんだけども、実際に、地域で言うと和合町、それから、月吉地区、これは私、言ってるんですけど、この地域は遠くなってるんですよ。瑞陵中学校よりも。150メートルか、200メートルぐらい。

それで、私がずっと調べた結果、本郷、月吉、和合の公民館は全部、あそこからの距離を測ったら、一番近いのは本郷なんですよ。2番が月吉で、その次は和合なんですよ。そういう遠いところは、結局は見放されちゃっておるんだけどという話をしたら、学校統合審議会のときの役員さんが決められたことですからとはっきり言われるんだけど、学校統合審議会の審議でやられた方々は、学校に近い人がみんなやってるんですよ。戸狩地区の人がやってる。全然関係ないね、和合とかその辺の連中は。

そういう関係であって、やはり遠くなってるところはあるんだから、やはり何とかしてほしいなということの一つありますけども、せっかくその今の平和の観光バスが今やってるんだけど、バスの和合に車庫があってね、あそこは出発してるんですよ。それも和合から出発して、月吉を通過して、日吉へ上っていくんですよ。

その和合の出発点で乗せてくればいいわけ。乗せて行って、日吉へ行って、日吉から降りてくればいいわけ。帰りも同じように帰ってくるんだから、乗せればいんだけどと言ったら、いや、その学校は、今度は6キロという話が出てくる。6キロという距離が決まってるので、それはできませんと、こう言われるということで。

まあ、逃げることは楽なんであれだけど、親御さんは非常に困るとというのが実際の話で、結局、和合の辺りは冬場でも電気がついて明るいけど、月吉なんかは真っ暗なところで自転車で通ってるんで、非常に危ないというのが現状の話。だから、何とかしてほしいという話が前から出てるんだけど、私も2回も3回も一般質問をやったんだけど、全然がちが明かない話なんで、まあ、これはもう少し小学校、中学校のPTAのほうで考え、意見を出してくださいという話を今しとる

んだけども。

そんなようなことがありますので、やはりこういう適正に運用されている、適正ではないと私自身は思う。個人的にです。そう思います。

○委員長（奥村一仁君）

13番 榛葉利広君。

○13番（榛葉利広君）

せっかく今、そういう話が出たんで。私、統合のときにPTA会長をやっておりまして、日吉のPTAの会長をやってました。ちょっとやっぱり統合の議論のときに、引換え条件みたいなのところがあったんですよ。日吉としては特に。

やっぱり通学手段がなくなるというところで、特に日吉の場合は本郷が6キロ、一山越えなあかんけど、6キロをちょっと切るぐらいの感じ、確か。これは困るという意見が出て、その当時は、本郷もバスになりました。

そのとき議論はなかったんですかね。

○12番（成瀬徳夫君）

結局、和合の人とか月吉の人が出てきてないんだから、結局はこの辺の人たちで決めちゃった話なんだけど。

○13番（榛葉利広君）

そんなような記憶があるので、やっぱりそれは受け止めないとは思いますが。

私の意見はここにいる一番最後のところですね。成果というところで、コミュニティバス、デマンドバス、また、公共交通機関も含めた効率的な運行と。今のところは、議員がたくさんいただけとるみたいなんで、十分のような気がしますけど、今後は考えていかなあかんのかなということで、採用してもらったので特にはないです。

○委員長（奥村一仁君）

16番 柴田増三君。

○16番（柴田増三君）

そういうことでいうと、どうしても統合されて、統合した学校のほうの意見があった。そういうもの多いし、今の陶の希望が丘も本来、6キロで計算しとると入らんとところやったと思うけど。だから、結局、そういう統合したら利便性を良くするという考え方からすると、そんなところに落ち着いとるけども、今後、教育的なものを正確にやるかやらんのか分らんけども、そういった部分というのが課題となってくるなということで、承知だけしとってもらえんやろうと思う。

○委員長（奥村一仁君）

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

それこそ一律で距離とか、そういうことで決められるんじゃないかと、傾斜とか、中山間地ですので、そこも加味した運動量とか、そういうことでもいいかもしれないですけど、そういうことを考

えないと、近いからいいわと言われて、山1つ、2つ、越えるなんていうのは、学生の体力でどうなのかということがありますので、そういった運動量みたいなところも気にしたらどうかということも入れてもいいかなと思いました。

以上です。

○委員長（奥村一仁君）

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

結局ね、自転車通学なんですよ。和合にしたって、月吉にしたって。女の子も自転車、男の子も自転車、結局はそれで行くと、みんなジャージなんですよ、学校へ行くのに。学生服でそろえないかんの、実際に学生服なんか年に2回ほどしか着ないというんですよ。学生服なんて何で買わないかんとする親が出てきている。みんなジャージで通つとるんだ。

だから、結局、自転車通学、非常に危険だよという話が出てきてるんで、それこそ今の大西瑞浪線のところは非常に危ないです。間違いなく危ないんです。だから、そういう子どもたちも非常に気をつけてくれるか知らないけども、事故は起きてないということがあるんだろうけども。

戸狩と月吉線のトンネル出たところは、あそこは結局、歩道を自転車が走ったらいかんもんだから、子どもたちは車道を走る。あのカーブのところ冬場なんかスレーンと転ぶんやね。自転車でね。

それが、車が来たら、本当にえらいことになっちゃうよと話をしてるんだけど、けど子どもたちは転んでもけがしないなと私もちょっと思つとるんだけども、そういう事故が多いんで、非常に危ないなということがあります。

あと、瑞浪北中学校の生徒たちは、瑞陵中学校のときだったんだけども、野平さんのところの倉庫があるところ。あの部分は、自転車は右側通行なんですよ。学校の指定は。あそこ右側通行して、それで、野平さんのところの倉庫のところを回って、線路のほうへ行けというふうな指導がしてあるみたいで、結局、右側通行をやって、野平さんところの倉庫から出た車とぶつかったんや。ドンと。

そうしたら、運転手にどえらい怒られたという。「おまえら、右側通行で自転車走って、どうだこうだ」というのを言われて。そこで、どこの学校だという話になって、学校で話をされて、家の孫は黙って、学校の先生が来て、「誰々さん、大丈夫でしたか」と、何の話を聞いたら、車とぶつかったらしいんだけどという話になって、それで、右側通行しとつたらぶつかったんだという話になって、そういう話があるんだけども、まあ、そういう話は車のほうもそんなにけがはなかったし、異常はなかったし、ぶつかったほうもけがはなかったんで、それで済んだ話なんだけども、本当に大きな事故になる可能性は出てくる。

だから、そういう矛盾とかが相当ある瑞浪北中学校は。まあ、そんなことがありますので、皆さん今日、分かってもらえるだけで結構です。

以上です。

○委員長（奥村一仁君）

ありがとうございました。そのあたりについては、また地域公共交通計画策定のときにまた議会としての意見をする機会があると思いますので、そこでしっかりと議会として意見を出していきたいと思います。

15番 加藤輔之君。

○15番（加藤輔之君）

陶町で、この問題については非常に真剣にいろいろ取り組んでおるわけですが、ただこれまで運行管理経費ということだけについて、非常に市長、上手にやっというふうで、国からも県からもしっかりと補助金をもらって、実際に使つとるよりも余分に金が余つとるという、そこが上手に集めてきとるという点では大変に評価ができるというふうに思っております。

今、成瀬委員からも出たような派生的な問題については、もう非常に問題をたくさん含んでおるということで、単に議会側の動きだけでうまくいくかどうかということについても、非常に疑問を持っております。

そういう点で、陰に潜んでる地域公共交通会議というものも何とかせんと、何ともならんというような気がします。

働きかけが今後の課題だというふうに思っておりますので、私はこの表現についてはこれでいいというふうに思っております。

以上です。

○委員長（奥村一仁君）

ありがとうございました。

ほかにご意見いかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ほかにないですので、事業評価については以上といたします。

○委員長（奥村一仁君）

次に、再評価分の事業評価についてご意見をいただきたいと思っております。

一番下のほうに2つあります。①空き家等改修補助事業からご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

○委員長（奥村一仁君）

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

意見の下のほうで、空き家年数に比例して修繕費がかかるためということがあるんですけども、これ、バンク登録が長ければ、補助率を上げたらどうかというような話かと思うんですけども、ただそうすると長く放っておいたほうが補助率が上がっていくことができるかなというのとも考えられるかなというふうに思うんですよ。

そうすると、例えば、3年なら3年、5年なら5年ぐらいのところ補助を打ち切るほうが本来かなと思って、そうしないと10年以上空き家になって、もう空き家として魅力がないから、これはもう壊して次の人に、更地にするとか、そういうふうな考え方を考えていかないといけないので、僕としてはこの長くしたほうが補助率を上げるというのは、意見として執行部側に出していいのかなというのはちょっと疑問です。

○委員長（奥村一仁君）

ありがとうございます。バンクの質として、新しく登録した物件からどんどん成約していくということがあって、どうしてもそのまま残ってるやつがずっと残っちゃうということがあったので、それについてご意見を書かせてもらいました。

皆さんからのご意見、ほかにもいただきたいと思いますが、これを記載することについてどう考えるかということについて、ご意見、ほかにもいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

であるんだったら、打ち切りを作ったほうが良いと思います。例えば、5年、10年掲載してて、もう全然買い手がつかない。それでもずっと載せなきゃいけないとなると、魅力がない物件の集合体みたいな空き家バンクになってないかというのが心配なんですよ。

だから、例えば、空き家になって何年までは補助するよと。それ以降はもう補助をかけられないよというところにしておかないと、ずっとその補助率が上がっていくような状況にはならないと思うんですけども、そういったことも考えられるかなと思いますので、空き家に登録して、買い手がつかないのであれば、もうそれ以上の魅力は発生しないんじゃないかというような観点も入れるべきかと、僕は思っております。

以上です。

○委員長（奥村一仁君）

1番 福永泰子君。

○1番（福永泰子君）

今の樋田委員の、確かにそのとおりだなと思うんですが、そうすると、今度、登録なんかで売れ残りの集合体になってしまうので良くないと思う。そしたら、ただ、経過年数を超えたものに対して、削除するのではなくて、経過年数に応じて補助金額じゃなくて、補助内容を変える。例えば、もう何年も過ぎたものに対しては、解体費用に切り替えるとか。できればですけど、内容を変えるのは、補助内容を修繕費から、今度、何年を経過したのには解体費用というふうにするとかっていうふうで、補助の金額ではなく、補助内容を考えてもらったほうがいいのかなと。実際、必要なものにお金が行くようにするのがいいのかなと思います。

○委員長（奥村一仁君）

16番 柴田増三君。

○16番（柴田増三君）

この出てきた意見の中でまた皆さんで修正を一生懸命あれやけども、あくまでこの評価に書いていただいたものをまとめてあるので、今まで出てこなんだものがいつまた出てくるということなので、全く変えるのか、その辺の部分も含めて検討する必要があるという形になるので。

○14番（熊谷隆男君）

それ言う日じゃないと思う。これでいいですかと、これで良くないという意見になるので。

○16番（柴田増三君）

もっと意見が本当は出てきても良かったということをお願いする。前のときに。

○委員長（奥村一仁君）

9番 渡邊康弘君。

○9番（渡邊康弘君）

柴田増三委員の意見もあるので、であるのであれば、買い手価格の見直しを行い、登録年数に応じて価格を変更するなどという、その文言がふさわしくないんじゃないかというところの指摘になると思うんで、そこを削除した上で、販売価格の見直しを行った、ぐらいのところの、登録年数に応じて補助金額を変更するという文言を消したほうが、そういうのもどうかという意見が出てるのであれば。ちょっとそこら辺を精査したらいいんじゃないでしょうか。

○14番（熊谷隆男君）

これ、永遠と繰り返さないの。ここで言って直したら、また直したやつをみんなに見せることになる。

○委員長（奥村一仁君）

ここで議論して、皆さんで確定したいと思いますので、お願いします。

○14番（熊谷隆男君）

文章を切っちゃったら早い。

○委員長（奥村一仁君）

今、ご意見がありましたが、残したほうがいいんじゃないかという方がなければ、削除で考えます。

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

これは決算認定の中の事業評価なので、事業を評価して、この次年度の継続や、こういう意見というのは、この事業評価をしたことによって一般質問につなげたりとか、次の予算のときにそれを質疑にかまして言うということなら分かるし、人によってはこれ、意見が分かれて、僕は樋田委員に賛成です、僕は誰々。こういうことはね、言ってまた、なおかつそれが採用されるかどうかも分からんところでもあるわけやけども、どれが正しいか、これ一つ捉えたって議論を進めることなくなっちゃうんじゃない。

○委員長（奥村一仁君）

ありがとうございます。ただ、これはやっぱり議会の評価として市長に提出しますので、皆さん

の意見を反映したいので、削除したほうがいいという文章があれば言っていただいて、皆さんもそのように考えながら削除するというのが正しい流れだと思いますので。

○14番（熊谷隆男君）

細かく言うと、事業評価は、要は決算の認定、今までやってきたことについての評価をして、次年度のということをおね。それじゃあ、これまでのほかのやつのところでも、それは別枠で述べる機会があったかと言ったら、そうじゃなくて、ここの過年度のところだけが次年度のっていうことを示すと、意見を示すと。

ほんなら、これ全部、今までやってきたこの10事業についても同様にやっとなら分かるけども、何でこれ過年度のところだけこんな次年度のことを出すんだと。どういう、整合性が僕は分からないんやけど。

これを委員長の見解としてということで、個人の意見でも何でもいいけども、付記されることは別に委員長の見解でいいと僕思うんやけど、このことを捉えて、今年投げたやつの10のやつをそうしておいて、過年度のやつだけこうするという意味が何となく分からんのよね。

○委員長（奥村一仁君）

ありがとうございます。今回、この次年度の方向性、事業計画について意見を設けた意図ですけど、今、さっきまでの10事業というのは、あくまで単年度評価、おっしゃったように決算認定に対する評価ですので、提案は含んでません。

これが何で含めたかと言いますと、今回のこの再評価事業の2事業というのは、改善点についての評価を皆さんにしてもらってます。改善点について、全然改善されてないということであれば、じゃあ、どう改善したらいいのかという意見、こちらも評価するだけじゃなくて、提案が必要だと思いましたので、再評価事業についてだけ、方向性と継続についての意見ということで枠を設けて、ご意見をいただいたという形です。

○委員長（奥村一仁君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

事業評価とそれとは全く意味合いが異なるとの説明になるので、これは別のもので、予算決算委員長としての提言で出してもらえればいい話になってくるわけで、皆さんの意見を集約したらこういうことでありましたと、私こう思いますという。今後こうしたらどうでしょうという提案というのは、決算で事業評価をやって、これがすごく次の年の予算に持っていくっていうことではないですよというのはかねがね言ってる話のところ、決算の認定、評価と、その後に議論があって、次年度の予算のときにはまだ予算の提案というのが新たにみんなで検討すべき。

これは別に委員会提案じゃなくても、議員提案ができる話やもんで、そのことについてはまた違う形があるかしらんと僕は思うけども、もしこれが予算のための決算認定とひもづけるのなら、これ分かる話やけども。

最初の立ち上げだけで、あるべき姿の事業評価の最初の形ということでいうのと、違うくくりの

話やないということを思うんやけど。

○委員長（奥村一仁君）

はい、ありがとうございます。そのあたりも、一番最初にこの作業をする意図というか、そういう説明をさせていただいたと思います。

そのときに、評価については改善点等、ご意見の形に今回ちょっと、委員長の名前を出してやらせていただいておりますように、説明をさせていただいておりますので、今回ちょっとこの形でやらせていただきたいと思います。

樋田委員がおっしゃったような、これはちょっと消した方がいいじゃないかという意見がありましたら、ぜひいただいて、こちらは修正したいと思っております。

○14番（熊谷隆男君）

樋田委員が削除、俺は残してほしいとなったらどうするんや。

○委員長（奥村一仁君）

それは反対の意見を言われたなら議論していただいて、最終的には委員長判断になります。議論の場を設けるという意図もありますし、それはずっと他の委員もおっしゃっていたことでありますので、この場は議論するという感じにしたいと思っておりますので、お願いします。

今、削除という意見が出て、特に反対意見がなければ削除になりますので、よろしく願います。

9番 渡邊康弘君。

○9番（渡邊康弘君）

削除というところで、削除後にどうなるかで、どこを削除したのかというのをちょっと説明いただかないと。

○委員長（奥村一仁君）

今、皆様のご意見が出てるところは、渡邊委員がおっしゃったように、バンクへの登録年数に応じて以降を削除するということと、今は全部削除ということが出ましたが、今、2つ意見が出てますので、何かほかにあれば、ご意見をいただきたいと思っております。

○委員長（奥村一仁君）

4番 棚町 潤君。

○4番（棚町 潤君）

もうこれ2行を削除でいいかなと思ってるんですけど、正直、売買価格をこちらから指定するわけにいかないので、この2行を削除でいいかなと僕は思います。

○委員長（奥村一仁君）

ほかにはよろしいですか。

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

これ空き家と次の空き店舗も両方なんですけど、貸す人がおるわけだね。貸す人の責任が相当あ

るんですよ、これ。だから、そういう結果になってくると思うので、やはりもう少し考えないか
ことであるから、今回、これを質すというのは一つ問題かなと私は思うんで、一回まだ出してある
んで、それでまた行政もどういふふうを考えるか知らないんだけど、こういうことをやったんだよ
ということで、話だけはしてもらってもいいと思うんだけども、これを出す必要はないと思う。

○委員長（奥村一仁君）

では、皆さん、下2行削除という意見が多いようですので、下の2行は削除するようにします。
ほかにご意見はないでしょうか。

11番 小木曾光佐子君。

○11番（小木曾光佐子君）

成瀬委員はこの2つの評価そのものを出さなくてもいいんじゃないかという意見だったと思うん
ですけど、私自身も評価書に書かせていただきましたが、もう事業評価した事業なので、評価でき
ませんというふうには私は書いたと思っておりますが、その辺のところはどこにも取り上げてもらってな
いので、評価することが当たり前と、出すことが当たり前という委員長の考え方でやってみると
思うんですけど、そこら辺のところをどうされるのかなという、ちょっとお伺いしたいと思いま
す。

○委員長（奥村一仁君）

ありがとうございます。何度か説明させていただいて、確かに小木曾委員と、大久保委員も同じ
ようなことを書いてありました。

ただ、委員会としてこういうことをやりますといった際に、反対意見はありましたが、委員会と
しては、ほかの皆さん賛成していただいておりますので、委員会としてはやるということでお伝えしま
した。

これも、そのときの説明で市長に最終的には提出しますということを説明させていただいている
中で、賛成を多くいただいたと思っておりますので、この2つについてはまとめて提出します。

先ほどのご意見の中で、意見が反映されてないということがありましたけど、書いてほしいとい
うことがあれば当然、書きますけど、その際にはそれを書いていかどうかを皆さんに、またご意
見を諮ることになります。

10番 大久保京子君。

○10番（大久保京子君）

いろいろありますけど、委員長のお考えでこれをやりますよということを、今日この会議の中で
何度もおっしゃってるので、それはもう了解しました。

先ほども出てるような意見の中の削除部分とかは、必要かなとは思っております。

○委員長（奥村一仁君）

ありがとうございます。

ほかにかがででしょうか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

特にないようですので、空き家等改修補助事業については、次年度の方向性の下の2行は削除します。

○委員長（奥村一仁君）

次に、②空き店舗賃貸借促進奨励事業についてご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

9番 渡邊康弘君。

○9番（渡邊康弘君）

先ほどと同様の議論になると思うんですけど、これも下の2行目の「また、中心市街地の商業機能の回復と活性化が目的であれば、店舗を貸し出せる状態にするための費用に対する補助等の検討も必要と考える」の部分は、先ほどと同様の考えですと削除していいと思います。

○委員長（奥村一仁君）

ほか、いかがでしょうか。

今、下の2行目のところから最後まで文章を削除したほうがいいんじゃないかという意見ありましたが、これについてご意見のある方、お願いします。

10番 大久保京子君。

○10番（大久保京子君）

同じことだと思うんですけど、店舗を貸し出せる状態にするための費用に対する補助等といっても、やっぱり先ほどもあったように、貸主さんとか、その所有者の方のお考えなので、これは当然、削除でいいんじゃないですか。

○委員長（奥村一仁君）

はい、ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（奥村一仁君）

それでは、今、下の2行を削除ということで意見が出ました。特に皆さん、削除でいいということなら、削除したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

ほかの部分で何か、ご意見なければ。

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

これを市長提出して、今までは口頭でこういうふうですと説明をしようとしたわけやけど、やっぱり委員長としての見解があるもので、皆さんの意見も、今言われたように全部集約されるところもあるので、特に特記すべきもの、議論が多く及んだようなところは、口頭ではなく、多少、書面にして、委員長考察でも何でもいいけど、意見でもいいけども、所感でも。

何を言わんかとする、例えば、持って行って、出して、担当課に行くやろうけども、市長に提

出すときに、これが結構意見が頻繁に出たんですよ。こんな意見も出たんですよと。うまく話せればね、時間的にいつもいいなと思うけど、そういうわけではなくて、迫って、あと5分ほどで何て言われる中でやるのであれば、やっぱり書面で出してもらって、後で読んでもらえるようなものを委員長がちょっと作っていただいて、委員長一任で結構、ここで諮ってもらわんでも。大体、うそは書かへんと思うので。そういうものを作って出してもらう、追記してもらったらどうやろうと僕思うんやけど。

○委員長（奥村一仁君）

ありがとうございます。それでは、そのようにしますので、委員長一任で文章を作って、市長に提出したいと思います。

ほかにはいかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ほかにはないようですので、これで事業評価（案）については終了いたしまして、修正したものについてはまたDropboxに入れますので、再度確認していただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○委員長（奥村一仁君）

それでは、2、その他に入ります。

何かその他でご意見ある方いらっしゃいますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それではないですので、終了します。

○委員長（奥村一仁君）

それでは、全ての審査が終了しましたので、これをもちまして令和5年第8回予算決算委員会を閉会いたします。

ご苦労様でした。

午前9時59分 閉会